

図書館だより

2012
No.167

- “図書館まつり”を開催しました！・・・ P1
- 2011年 秋の読書週間・・・・・・・・ P2・3
- 郷土の文化人 その13 宮本 昌孝・・・・・・・・ P4



“図書館まつり”を開催しました！

11月12日（土）絶好の秋晴れの下、総合市民図書館において“図書館まつり”を開催いたしました。湘南台地区社会福祉協議会、今田北・今田南・今田団地の各自治会、図書館ボランティアの方々の協力により、焼きそばや綿菓子などの模擬店や東北物産展、紙芝居、おはなし会、リサイクルブックフェア、図書館探検ツアー、鉄道模型・Nゲージ展示などを行い、たくさんの方々に来ていただきました。



紙芝居

ボランティアの皆さんに大型紙芝居・「黄金バット」などの昔懐かしい紙芝居を演じていただき、子どもたちも大人も皆一緒に楽しい時を過ごしました。

リサイクルブックフェア

中庭と2階ホールにてリサイクルブックフェアを行いました。

東北物産展

被災地支援として、東北地方の名産品・特産品の販売を行いました。商品の売り上げは「岩手・宮城・福島観光プラザ」から被災地の生産者へお支払いいたします。



図書館探検ツアー

点字図書館や保存庫、業務室など普段利用者が目に見えない場所をご案内しました。



鉄道模型・Nゲージ展示

子ども図書館にて、Nゲージの“江ノ電”を走らせて遊びました！！

※鉄道模型・Nゲージは市民の方より寄贈していただいたものです。



- 【市民図書館】 総合市民図書館（Tel.43-1111）南市民図書館（Tel.27-1044）辻堂市民図書館（Tel.35-0028）
 湘南大庭市民図書館（Tel.86-1666）
- 【市民図書室】 長後（Tel.43-7655） 明治（Tel.35-7095） 辻堂（Tel.35-7076） 村岡（Tel.28-6939）
 片瀬（Tel.28-6935） 遠藤（Tel.88-6235） 六会（Tel.83-4686） 善行（Tel.83-4687）
 藤沢（Tel.28-6895） 鶴沼（Tel.35-7096） 御所見（Tel.48-4675）

図書館のホームページ <http://www.lib.city.fujisawa.kanagawa.jp/>



2011年秋の読書週間

総合市民図書館

◆講座「はじめての紫式部日記」

全3回(9月30日・10月7日・21日)

講師：増淵勝一氏(古典研究誌「並木の里」主宰)

例年好評の古典文学講座で、とても楽しく、分かりやすい講義に、「来年も是非開催してほしい」との声が多数寄せられました。



◆講演会「ことばを伝える楽しさを」(10月30日)

講師：麻上洋子氏(声優)

藤沢市在住の声優、麻上氏を講師に迎え、10代へ向けての講演会を行いました。声優になったきっかけやこれまで演じた役、また講談や朗読についてのお話を聞いたあと、紙芝居の実践を行いました。終了後、「ことばで伝えることの良さがわかった」などの声が寄せられました。



◆講演会「僕は言葉によって人生が変わった～言葉の力～」(11月6日)

講師：武田双雲氏(書道家)

「公益信託高見滋記念市立図書館援助基金」記念講演会としてご講演いただきました。

“言葉”により武田氏自身がどのように人生が変わったかについてお話いただきました。



南市民図書館

◆こどもマンガ教室(10月30日・11月6日)

講師：大山哲也氏(漫画家)

先生からペンの使い方やスクリーントーンの貼り方を教わり、こどもたちが実際にマンガを描いてみました。作品は後日製本し、すてきな作品集ができあがりました。



◆大磯文学散歩(11月1日・2日)

講師：島津勝昭氏(文芸評論家)



学習会のテーマ「大磯の文学と歴史」「西行の世界」に基づき翌日、大磯の地を散策しました。気持ちよい秋晴れの下、講師のわかりやすい説明を聞きながら楽しい一日を過ごしました。

◆読書週間こどものつどい(11月2日)

いつものお話会より広い会場で大型絵本や大型紙芝居、ペープサート(紙人形劇)などをしました。

ご参加いただいたお父様から「初めて子どもに付き添って来たけど、ぼくが楽しかった!」との感想をいただきました。

辻堂市民図書館

◆講演会「あなたは炭鉱のことを知っていますか？」

(11月3日)

講師：福田徳徳氏(元三池炭鉱 通気係)

藤沢市在住の福田氏に坑内の体験や炭鉱の暮らしを語っていただきました。経験者ならではの言葉は、昭和の日本を支えた気概を感じさせて有意義な催しとなりました。



◆歴史講座「辻堂の道祖神と珍しい石仏を訪ね歩く」

(11月8日・9日)

講師：山下健氏(NPO法人市民の図書館・ふじさわ理事/藤沢地名の会会員)

辻堂に古くからある道祖神や石仏について、講演していただきました。地元の歴史を身近に感じる興味深い内容でした。二日目は、講演で紹介された地を実際に訪れました。より詳しい解説に、参加者も熱心に耳を傾けた実りのある散策となりました。



湘南大庭市民図書館

◆ふしぎな楽器「マトリョミンコンサート」

(10月30日)

マトリョーシカの中にアンテナの入った不思議な楽器「マトリョミン」のコンサートを開催しました。子どもから大人まで楽しいひとときを過ごしました。

今年はテルミンの演奏もありました。演奏した曲の入ったCDやマトリョーシカの本を多くの方が借りていかれました。



◆あきのおはなし会 “おいしい おいしい おはなし会”

(11月3日)

秋の雰囲気いっぱいの会場で、“おいしいもの”が出てくるおはなしや紙芝居をみんなで楽しみました。



◆上映会「ライフタウンの誕生～40年前をふりかえって～」(11月5日)

松本幸洋氏(横浜開港資料館調査研究員)を解説者にお迎えして、1970年前後の藤沢市や湘南ライフタウン建設当時の大庭地区、またライフタウン建設がほぼ完成した1990年の様子など当時の貴重なフィルムを鑑賞して、地域の歴史を感じていただきました。



みやもと まさたか
宮本昌孝



プロフィール

1955年（昭和30年）静岡県浜松市出身
日本大学芸術学部卒業
手塚プロダクションを経て執筆活動に入る。
1995年、『剣豪将軍義輝』を上梓し一躍脚光を浴びる。『夕立太平記』『尼首二十万石』『おねだり女房』『影十手活殺帖』『ふたり道三』『海王』『天空の陣風』など著書多数。
『夏雲あがれ』は、2007年NHKでドラマ化。
『陣借り平助』『風魔』は、コミック化。
エンターテインメント要素たっぷりの痛快時代小説作家。
藤沢市辻堂在住。

多くの人に「娯楽」を提供したい

「時代小説作家ってどんな方だろう？」そんなインタビュアーの不安を、一瞬で吹きとぼしてしまうような爽やかな笑顔で、宮本さんは気さくに取材に応じて下さいました。

藤沢市へは、親戚や友人が住んでいるというご縁で県央部から引越ししてこられました。気候が温暖で、なんとなくゆったりとした辻堂の雰囲気がとてもお気に入りのご様子。出身地の浜松とも、どこか共通するところがあるそうです。

ご友人には、版画家や翻訳家、写真家などアーティストも多く、その方たちとおつきあいも創作活動に良い刺激となっているようです。また、20年近く続けている趣味のテニスは、「勝ち負けにこだわるのではなく健康のための楽しむテニスです。」とおっしゃいます。

図書館は、ご自宅から程近い辻堂館をご利用いただいています。インターネット上の情報や今話題の電子書籍よりも、紙でできた本を実際に手に取る方がお好きで、執筆時には『国史大

辞典』や『徳川実紀』などを参考にされるそうです。また、現地に足を運ばないと得られない貴重な情報を求めて、地方の資料館などに取材される事もよくあるそうです。

「東日本大震災を機に、何かご自身や作品に変化はありましたか？」との問いには、「これまでと特に変わらず、作品を通じて多くの人々に娯楽を提供していきたい。」と、きっぱりとお答えになりました。

歴史の知識がないと、時代小説を読んでも面白くないのでは？と思われる方も多いかもかもしれませんが、宮本さん曰く、楽しみ方は人それぞれであり、特に身構えず自分流に楽しく読んでみて下さいとのこと。

今まで、時代小説をあまり読んだことのなかったあなたも、今年チャレンジしてみたいかかでしょうか？

所蔵作品

- 『剣豪将軍義輝』徳間書店 1995年
- 『夕立太平記』講談社 1996年
- 『青嵐の馬』文藝春秋 1998年
- 『藩校早春賦』集英社 1999年
- 『夏雲あがれ』集英社 2002年
- 『ふたり道三』新潮社 2002年
- 『風魔』祥伝社 2006年
- 『海王』徳間書店 2009年
- 『家康、死す』講談社 2010年
- 『陣星、翔ける』祥伝社 2011年



他多数

編集後記

明けましておめでとうございます。
昨年は、1986年（昭和61年）に開館した総合市民図書館がおかげさまで25周年を迎えました。

本年も皆様に愛される図書館をめざし努力してまいります。お気軽にご来館くださるようスタッフ一同お待ちしております。

発行 藤沢市総合市民図書館
藤沢市湘南台 7-18-2
TEL 0466-43-1111